

帰国生メッセージ・奨学生の声

【2018年度生募集に応募するみなさんへ】

現在の専攻や打ち込んでいる課外活動が、希望する留学とどのようにリンクするのか、また、留学中の経験が、帰国後の自身のキャリアビジョンにどうつながると考えているか。スカラシップの選考にあたって、この2点を深く再考したことは、自分が将来どういう人間になり、国際社会に何を貢献していくべきかを見つめ直す、とてもよい機会になったと感じています。

【奨学生の声～留学に向けて】



高い専門知識だけを身に付けるための留学でなく、吸収したものを発信できる「外向き志向」の人材になることができるよう、留学中は積極的に周囲の人たちと交流していきたい。



本スカラシップを得た留学では、自分の「できるレベル」に妥協してしまうことを絶対にしない！間違えることも壁にぶつかることも貴重な経験、いまの自分を超えて日本に帰ってきたい。



この奨学生選考を通して知り合うことができた同期生はみな「同志」。留学先や専攻、バックボーンはそれぞれ異なるが、日本を飛び出し、世界各地で見聞を広め、その経験を活かして、活躍できる人材になりたい。



アウェイの環境で「自分」を育み、外から「自国」を知ることを意識した生活を送りたい。この留学では、将来に活かせる「異文化対応力」・「コミュニケーション能力」を高めたい。